

2016 年度会計報告等及び 2016 年度監査報告

自 2016年4月 1日
至 2017年3月31日

2016年度会計報告等

1. 収支決算案

(1) 貸借対照表	—	1
(2) 正味財産増減計算書	—	2
正味財産増減計算書内訳表	—	
(3) 財務諸表((1)及び(2))に対する注記及び附属明細書	—	4
(4) 財産目録	—	8
2. 公益目的支出計画実施報告書	—	9

2016年度監査報告

3. 独立監査人の監査報告書

4. 監事監査報告書

貸借対照表

2017年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	266,008,765	297,857,389	△ 31,848,624
未収金	2,050,140	4,449,842	△ 2,399,702
未収利息	3,965,001	3,967,751	△ 2,750
未収税金	5,770,216	5,028,432	741,784
前払金	4,074,557	4,001,033	73,524
立替金	0	449,252	△ 449,252
前払費用	7,577,526	7,550,276	27,250
貸倒引当金	△ 91,260	0	△ 91,260
流動資産合計	289,354,945	323,303,975	△ 33,949,030
2 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	229,486,383	253,367,512	△ 23,881,129
インターネット基盤整備基金資産	1,239,511,694	1,258,494,316	△ 18,982,622
特定資産合計	1,468,998,077	1,511,861,828	△ 42,863,751
(2) その他固定資産			
建物附属設備	18,926,428	21,266,489	△ 2,340,061
什器備品	38,115,207	43,776,843	△ 5,661,636
ソフトウェア	23,640,802	20,585,492	3,055,310
電話加入権	1,385,136	1,385,136	0
敷金	30,107,000	29,779,000	328,000
関連会社株式	140,170,000	63,250,000	76,920,000
長期前払費用	1,353,634	625,312	728,322
その他の固定資産合計	253,698,207	180,668,272	73,029,935
固定資産合計	1,722,696,284	1,692,530,100	30,166,184
資産合計	2,012,051,229	2,015,834,075	△ 3,782,846
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	10,708,303	9,940,749	767,554
前受金	30,000	340,000	△ 310,000
預り金	931,100	845,200	85,900
賞与引当金	27,267,510	25,900,276	1,367,234
未払消費税等	4,168,600	4,304,700	△ 136,100
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	43,175,513	41,400,925	1,774,588
負債合計	43,175,513	41,400,925	1,774,588
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	1,968,875,716	1,974,433,150	△ 5,557,434
(うち特定資産への充当額)	(1,468,998,077)	(1,511,861,828)	△ 42,863,751
正味財産合計	1,968,875,716	1,974,433,150	△ 5,557,434
負債及び正味財産合計	2,012,051,229	2,015,834,075	△ 3,782,846

(注) 実施事業資産は次のとおりです。

その他固定資産 什器備品 466,955

正味財産増減計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(18,091,711)	(14,120,376)	(3,971,335)
減価償却引当資産受取利息	75,473	159,770	△ 84,297
インターネット基盤整備基金資産受取利息	18,016,238	13,960,606	4,055,632
② 受取会費	(97,400,000)	(97,200,000)	(200,000)
正会員受取会費	93,500,000	93,500,000	0
賛助会員受取会費	3,900,000	3,700,000	200,000
③ 事業収益	(393,994,144)	(399,273,038)	(△ 5,278,894)
インターネット基盤整備事業収益	40,291,266	41,244,092	△ 952,826
IPアドレス事業収益	353,702,878	358,028,946	△ 4,326,068
④ 雑収益	(31,295,192)	(24,870,859)	(6,424,333)
受取利息	4,916	97,546	△ 92,630
受取配当金	28,254,000	24,541,000	3,713,000
雑収益	3,036,276	232,313	2,803,963
経常収益計	540,781,047	535,464,273	5,316,774
(2) 経常費用			
① 事業費	(433,491,359)	(435,105,201)	(△ 1,613,842)
インターネット基盤整備事業費	125,214,401	122,038,295	3,176,106
IP事業費	308,276,958	313,066,906	△ 4,789,948
② 管理費	(93,776,916)	(86,643,542)	(7,133,374)
管理費	93,776,916	86,643,542	7,133,374
経常費用計	527,268,275	521,748,743	5,519,532
評価損益等調整前当期経常増減額	13,512,772	13,715,530	△ 202,758
特定資産評価損益等	△ 17,822,622	△ 24,380,829	6,558,207
評価損益等計	△ 17,822,622	△ 24,380,829	6,558,207
当期経常増減額	△ 4,309,850	△ 10,665,299	6,355,449
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入	0	54,326	△ 54,326
経常外収益計	0	54,326	△ 54,326
(2) 経常外費用			
インターネット基盤整備基金資産償還損	1,160,000	570,000	590,000
固定資産除却損	17,584	20,977	△ 3,393
経常外費用計	1,177,584	590,977	586,607
当期経常外増減額	△ 1,177,584	△ 536,651	△ 640,933
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,487,434	△ 11,201,950	5,714,516
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,557,434	△ 11,271,950	5,714,516
一般正味財産期首残高	1,974,433,150	1,981,694,524	△ 7,261,374
修正再表示による累積的影響額	0	4,010,576	△ 4,010,576
一般正味財産期末残高	1,968,875,716	1,974,433,150	△ 5,557,434
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,968,875,716	1,974,433,150	△ 5,557,434

正味財産増減計算書内訳表

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計 (インターネット基盤整備事業)	その他会計 (IP事業)	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益	(0)	(0)	(18,091,711)		(18,091,711)
減価償却引当資産受取利息	0	0	75,473		75,473
IN基盤整備基金資産受取利息	0	0	18,016,238		18,016,238
受取会費	(0)	(0)	(97,400,000)		(97,400,000)
正会員受取会費	0	0	93,500,000		93,500,000
賛助会員受取会費	0	0	3,900,000		3,900,000
事業収益	(40,291,266)	(353,702,878)	(0)		(393,994,144)
IN基盤整備事業収益	40,291,266	0	0		40,291,266
IP事業収益	0	353,702,878	0		353,702,878
雑収益	(2,242,263)	(218,613)	(28,834,316)		(31,295,192)
受取利息	0	0	4,916		4,916
受取配当金	0	0	28,254,000		28,254,000
雑収益	2,242,263	218,613	575,400		3,036,276
経常収益計	42,533,529	353,921,491	144,326,027		540,781,047
(2) 経常費用					
事業費	(125,214,401)	(308,276,958)	(0)		(433,491,359)
給与手当	54,223,000	95,753,401	0		149,976,401
退職給付費用	3,322,807	5,964,996	0		9,287,803
賞与引当金繰入額	8,440,835	14,994,621	0		23,435,456
法定福利費	7,638,103	13,607,813	0		21,245,916
福利厚生費	64,387	110,229	0		174,616
懇親会費	703,080	0	0		703,080
会議費	989,145	46,866	0		1,036,011
交際費	730,378	149,543	0		879,921
旅費交通費	4,358,779	4,073,286	0		8,432,065
通信運搬費	1,645,571	7,466,626	0		9,112,197
減価償却費	4,037,704	21,403,888	0		25,441,592
消耗品費	553,838	867,454	0		1,421,292
保守料	2,246,436	22,195,286	0		24,441,722
図書費	6,429	11,810	0		18,239
印刷製本費	1,460,414	2,630,070	0		4,090,484
光熱水料費	1,384,964	2,544,230	0		3,929,194
その他賃借料	6,986,247	12,307,528	0		19,293,775
不動産賃借料	12,812,415	23,536,880	0		36,349,295
機器賃借料	0	1,282,452	0		1,282,452
火災保険料	12,158	22,335	0		34,493
保険料	68,368	65,193	0		133,561
諸謝金	1,138,273	1,242,378	0		2,380,651
損害保険料	0	0	0		0
租税公課	2,009,658	16,293,050	0		18,302,708
支払負担金	302,917	40,627,914	0		40,930,831
研修費	123,200	394,967	0		518,167
業務委託費	9,387,228	19,858,940	0		29,246,168
支払手数料	356,796	345,830	0		702,626
雑費	211,271	388,112	0		599,383
貸倒引当金繰入額	0	91,260	0		91,260
管理費	(0)	(0)	(93,776,916)		(93,776,916)
給与手当	0	0	35,588,765		35,588,765
退職給付費用	0	0	1,550,498		1,550,498
賞与引当金繰入額	0	0	3,832,054		3,832,054
法定福利費	0	0	4,822,692		4,822,692
福利厚生費	0	0	55,874		55,874
懇親会費	0	0	680,000		680,000
会議費	0	0	1,335,587		1,335,587
交際費	0	0	296,731		296,731
旅費交通費	0	0	2,180,451		2,180,451
通信運搬費	0	0	1,745,207		1,745,207
減価償却費	0	0	3,368,340		3,368,340
消耗品費	0	0	472,003		472,003
保守料	0	0	1,946,912		1,946,912
図書費	0	0	5,573		5,573
印刷製本費	0	0	1,861,280		1,861,280
光熱水料費	0	0	1,200,302		1,200,302
その他賃借料	0	0	1,410,785		1,410,785
不動産賃借料	0	0	11,104,093		11,104,093
火災保険料	0	0	10,537		10,537
保険料	0	0	12,409		12,409
諸謝金	0	0	10,798,495		10,798,495
損害保険料	0	0	160,000		160,000
租税公課	0	0	3,098,009		3,098,009
支払負担金	0	0	262,528		262,528
研修費	0	0	102,400		102,400
業務委託費	0	0	5,535,264		5,535,264
支払手数料	0	0	157,025		157,025
雑費	0	0	183,102		183,102
貸倒引当金繰入額	0	0	0		0
経常費用計	125,214,401	308,276,958	93,776,916		527,268,275
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 82,680,872	45,644,533	50,549,111		13,512,772
特定資産評価損益等	0	0	△ 17,822,622		△ 17,822,622
評価損益等計	0	0	△ 17,822,622		△ 17,822,622
当期経常増減額	△ 82,680,872	45,644,533	32,726,489		△ 4,309,850
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0		0
(2) 経常外費用					
IN基盤整備基金資産償還損	0	0	1,160,000		1,160,000
固定資産除却損	0	0	17,584		17,584
経常外費用計	0	0	1,177,584		1,177,584
当期経常外増減額	0	0	△ 1,177,584		△ 1,177,584
税引前当期一般正味財産増減額	△ 82,680,872	45,644,533	31,548,905		△ 5,487,434
法人税、住民税及び事業税	0	0	70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	△ 82,680,872	45,644,533	31,478,905		△ 5,557,434
一般正味財産期首残高	268,242,349	561,250,825	1,144,939,976		1,974,433,150
一般正味財産期末残高	185,561,477	606,895,358	1,176,418,881		1,968,875,716
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	185,561,477	606,895,358	1,176,418,881		1,968,875,716

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ① 満期保有目的の債券…該当なし。
 - ② 子会社株式及び関連会社株式…移動平均法による原価法によっている。
 - ③ 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
 - ・時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
 - ・時価のないもの…該当なし。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産

法人税法に定める方法によっている。なお主な耐用年数は以下のとおり。

 - ・1998年(平成10年)4月1日以降に取得した建物と同一性を有する建物附属設備並びに2016年(平成28年)4月1日以降に取得したその他の建物附属設備及び構築物…定額法(6年～15年)
 - ・上記以外の建物附属設備及び構築物…定率法(5年～15年)
 - ・什器備品…定率法(2年～15年)
 - ② 無形固定資産
 - ・ソフトウェアの減価償却は5年間の均等償却によっている。
- (3) 外貨建有価証券の本邦通貨への換算

外貨建有価証券は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替差損益として別掲せず、評価損益に含めて処理している。
- (4) 引当金の計上基準
 - ① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の内、当期に帰属する額を計上している。
 - ② 貸倒引当金

債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 2016年(平成28年)6月17日)を当事業年度に適用し、2016年(平成28年)4月1日以後に取得するその他の建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更している。なお、この変更による損益(正味財産増減)に与える影響は軽微である。

3 特定資産の増減額及び残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
減価償却引当資産				
定期預金	253,367,512	0	23,881,129	229,486,383
小 計	253,367,512	0	23,881,129	229,486,383
インターネット基盤整備基金資産				
国内公社債・外国債券等	838,023,554	100,000,000	118,982,622	819,040,932
定期預金	250,000,000	250,000,000	250,000,000	250,000,000
普通預金	170,470,762	100,000,000	100,000,000	170,470,762
小 計	1,258,494,316	450,000,000	468,982,622	1,239,511,694
合 計	1,511,861,828	450,000,000	492,863,751	1,468,998,077

4 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
減価償却引当資産	229,486,383	0	(229,486,383)	0
インターネット基盤整備基金資産	1,239,511,694	0	(1,239,511,694)	0
合計	1,468,998,077	0	(1,468,998,077)	0

5 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	35,727,501	16,801,073	18,926,428
什器備品	228,682,408	190,567,201	38,115,207
ソフトウェア	282,181,745	258,540,943	23,640,802
合計	546,591,654	465,909,217	80,682,437

6 法人の採用する退職給付制度

確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けている。

7 事業費及び管理費の形態別分類

事業費及び管理費の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	事業費			管理費	合計
	IN基盤整備事業費	IP事業費	事業費合計		
給料手当	54,223,000	95,753,401	149,976,401	35,588,765	185,565,166
退職給付費用	3,322,807	5,964,996	9,287,803	1,550,498	10,838,301
賞与引当金繰入額	8,440,835	14,994,621	23,435,456	3,832,054	27,267,510
法定福利費	7,638,103	13,607,813	21,245,916	4,822,692	26,068,608
福利厚生費	64,387	110,229	174,616	55,874	230,490
懇親会費	703,080	0	703,080	680,000	1,383,080
会議費	989,145	46,866	1,036,011	1,335,587	2,371,598
交際費	730,378	149,543	879,921	296,731	1,176,652
旅費交通費	4,358,779	4,073,286	8,432,065	2,180,451	10,612,516
通信運搬費	1,645,571	7,466,626	9,112,197	1,745,207	10,857,404
減価償却費	4,037,704	21,403,888	25,441,592	3,368,340	28,809,932
消耗品費	553,838	867,454	1,421,292	472,003	1,893,295
保守料	2,246,436	22,195,286	24,441,722	1,946,912	26,388,634
図書費	6,429	11,810	18,239	5,573	23,812
印刷製本費	1,460,414	2,630,070	4,090,484	1,861,280	5,951,764
光熱水料費	1,384,964	2,544,230	3,929,194	1,200,302	5,129,496
その他賃借料	6,986,247	12,307,528	19,293,775	1,410,785	20,704,560
不動産賃借料	12,812,415	23,536,880	36,349,295	11,104,093	47,453,388
機器賃借料	0	1,282,452	1,282,452	0	1,282,452
火災保険料	12,158	22,335	34,493	10,537	45,030
保険料	68,368	65,193	133,561	12,409	145,970
諸謝金	1,138,273	1,242,378	2,380,651	10,798,495	13,179,146
損害保険料	0	0	0	160,000	160,000
租税公課	2,009,658	16,293,050	18,302,708	3,098,009	21,400,717
支払負担金	302,917	40,627,914	40,930,831	262,528	41,193,359
研修費	123,200	394,967	518,167	102,400	620,567
業務委託費	9,387,228	19,858,940	29,246,168	5,535,264	34,781,432
支払手数料	356,796	345,830	702,626	157,025	859,651
雑費	211,271	388,112	599,383	183,102	782,485
貸倒引当金繰入額	0	91,260	91,260	0	91,260
合計	125,214,401	308,276,958	433,491,359	93,776,916	527,268,275

8 資産除去債務に関する注記

当法人は、オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来オフィスを移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

9 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債、仕組預金)のみである。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

インターネット基盤整備基金資産のうち投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク)にさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

10 過去の誤謬の修正再表示による累積的影響額に関する注記

2012年度に購入した固定資産に関する、2012年度から2015年度まで計上した減価償却費に会計上の誤謬があったため、これを訂正する修正再表示をしている。これにより、修正再表示を行う前と比べ、前年度の貸借対照表は、建物附属設備が1,499,404円、什器備品が2,511,172円増加し、一般正味財産が4,010,576円増加している。前年度の正味財産増減計算書は、修正再表示により貸借対照表と同様に一般正味財産期末残高が4,010,576円増加している。

附属明細書

1 特定資産の明細

財務諸表の注記 3「特定資産の増減額及び残高」にて記載している。

2 引当金の明細

名 称	期首残高	当期増加 額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	25,900,276	27,267,510	25,900,276	0	27,267,510
貸倒引当金	0	91,260	0	0	91,260

財 産 目 録

2017年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	266,008,765		
現金 現金手許有高	195,366		
普通預金 三菱東京UFJ銀行神保町	62,753,787		
普通預金 三菱東京UFJ銀行神保町	58,531		
普通預金 三菱東京UFJ銀行神保町	0		
普通預金 みずほ銀行東京中央支店	203,001,081		
未収金	2,050,140		
未収利息	3,965,001		
インターネット基盤整備基金資産未収利息	3,955,028		
減価償却引当資産未収利息	9,973		
未収税金	5,770,216		
前払金 事務局家賃/IX費用等/会計ソフト使用料	4,074,557		
立替金	0		
前払費用 サーバ等の保守料	7,577,526		
貸倒引当金	△ 91,260		
流動資産合計		289,354,945	
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	229,486,383		
定期預金:三菱東京UFJ銀行神保町支店	229,486,383		
インターネット基盤整備基金資産	1,239,511,694		
国内公社債・外国債券等	819,040,932		
定期預金:三菱東京UFJ銀行神保町支店	250,000,000		
普通預金:三井住友銀行東京営業部	170,470,762		
特定資産合計	1,468,998,077		
(2) その他固定資産			
建物附属設備	18,926,428		
什器備品	38,115,207		
ソフトウェア	23,640,802		
電話加入権	1,385,136		
敷金	30,107,000		
関連会社株式 ㈱日本レジストリサービス 株式 1385株	140,170,000		
長期前払費用 サーバ等の保守料	1,353,634		
その他の固定資産合計	253,698,207		
固定資産合計		1,722,696,284	
資産合計			2,012,051,229
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金 事業支出の未払分等	10,708,303		
前受金	30,000		
預り金 住民税	931,100		
賞与引当金	27,267,510		
未払消費税等	4,168,600		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		43,175,513	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			43,175,513
正味財産			1,968,875,716

公益目的支出計画実施報告書

【2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の概要】

1.	公益目的財産額	2,588,456,331 円
2.	当該事業年度の公益目的収支差額((1)+(2)-(3))	326,607,245 円
	(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	243,926,373 円
	(2) 当該事業年度の公益目的支出の額	125,214,401 円
	(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	42,533,529 円
3.	当該事業年度末日の公益目的財産残額	2,261,849,086 円
4.	2の欄に記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由 計画作成時点の見込に比べ、当該事業における収入が上回り、支出が下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の残りの実施期間および今後の当該事業の実施規模を鑑みて、実施期間は据え置いている。	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1) 計画上の完了見込み	平成48年3月31日
	(2) (1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	2,588,456,331 円				
公益目的収支差額	318,226,299 円	243,926,373 円	433,740,233 円	326,607,245 円	549,254,167 円
公益目的支出の額	145,313,934 円	122,038,295 円	145,313,934 円	125,214,401 円	145,313,934 円
実施事業収入の額	29,800,000 円	41,354,792 円	29,800,000 円	42,533,529 円	29,800,000 円
公益目的財産残額	2,270,230,032 円	2,344,529,958 円	2,154,716,098 円	2,261,849,086 円	2,039,202,164 円

独立監査人の監査報告書

平成29年 4月 28日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

理事長 後藤 滋樹 殿

横浜みなと会計事務所

公認会計士

江田 寛 ㊞

私は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの平成28年4月1日から平成29年3月31日まで2016事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインⅡ－4の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターと私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 後 藤 滋 樹 殿

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

監事 岸川 徳幸 ㊟

2017年 5月 9日

監事 飯島 淳一 ㊟

2017年 5月 9日

監事 青木 邦哲 ㊟

2017年 5月 9日

私たち監事は、2016年4月1日から2017年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行の状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一. 事業報告及びその他附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二. 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上